



3つの  
花を咲かせよう。

# 横代小だより

北九州市立横代小学校  
校長 朝倉 謙吾

<教育目標> あかるく 正しく たくましく 未来にはばたけ

## 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

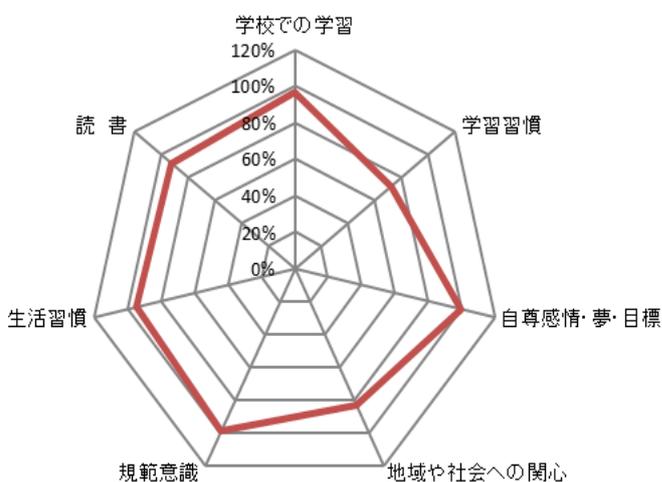
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的には全国平均点を下回っていたが、「話すこと・聞くこと」の問題の正答率は比較的高かった。</li> <li>記述式の問題の正答率が低く、書くことに課題がある。</li> </ul>	下回っている
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的には全国平均点を下回っていたが、「数と計算」「測定」の問題の正答率は比較的高かった。</li> <li>複数の図形を組み合わせた図形の面積を求めるなど、「図形」の領域の正答率が低かった。</li> </ul>	下回っている

### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



#### 質問紙調査の結果分析

- 授業で各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行えたと感じる児童の割合が高い。
- 日々の学習は自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたと感じた児童の割合が高い。
- 将来の夢や目標をもっており、人の役に立つ人間になりたいと思っている児童の割合が高い。
- 学校に行くのが楽しい、友達と協力するのが楽しいと感じている児童の割合が高い。
- 学校の授業以外の学習時間、家で自分で計画を立てて勉強をしている児童の割合が低い。

### 3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

- 教職員が一丸となり授業研究等を行い、これからも授業の質の向上に努めていく。
- 学年に応じた指導を系統的に継続して行うことにより、児童に「基礎的・基本的な学力」「書く力」を身に付けさせる。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

- 家庭と連携し、家庭学習の工夫・改善を行う。
- 子どもつながりプログラム等の実践により、子どもたちのこころの健康を保ったり、生活習慣の改善を図ったりする。